



▲経済発展が著しいヤンゴン中心部の様子

先日、ミャンマーへ行ってまいりました。

ミャンマーはアジア最後のフロンティアと呼ばれて早数年が経ちますが、人材の送り出し国としても注目されています。

その理由は、ミャンマー国内では月数千円～2万円程度の平均月収であること、国民の9割が敬虔な仏教国であるため日本の価値観に合いやすいこと、ミャンマー語は日本語と文法が似ているため日本語の習得が早いことなどが挙げられます。

現在最大の送り出し国であるベトナムでは経済発展が進み、日本との賃金格差が年々減少しています。ミャンマーはベトナムに代わる送り出し国になる可能性があります。

ミャンマーからの送り出しを受けている企業様はまだ多くないと思いますが、長期的な視点に立つ場合は、ミャンマーからの人材の受け入れを積極的に検討すべき時期に来ていると思います。
(弁護士 鶴岡)

癒しの場所『魚沼の里』 ～神様からの贈り物～

今回は、私のお気に入りの癒しの場所をご紹介します。

新潟県南魚沼市長森にある「魚沼の里」です。<http://www.uonuma-no-sato.jp/>
以前、新潟県と群馬県の境にある『巻機山(まきはたやま)』に山仲間と山スキーによく行きました。

そのとき、必ず立ち寄っていたのが「魚沼の里」です。日本酒の八海山で有名な八海醸造が運営。酒蔵、ビール醸造所、蕎麦屋、カフェが、美しい里山の風景に点在しているスポットです。特にお蕎麦が絶品で、山スキーの疲れをすっかり癒してくれます。

4月中旬～5月初旬に長森に行くと、大きな桜の木の下で地元の人達がワイワイと花見をしている風景に出逢うことがあります。なんと魚沼では、梅、桃、桜、菜の花が同じタイミングで咲き乱れるので、とても鮮やかで見事な風景です。贅沢な景色！雪山の景色だけではなく、下界ではたくさんの花も満喫できる、初春の魚沼は特に魅力的です。

長森に行く途中、タクシーの運転手さんに『本当に見事な光景ですね。』と思わず声を掛けると、『ここ南魚沼は豪雪地帯。全ての花が一斉に開花するのは、厳冬を耐え抜いた魚沼の人々への神様からの贈り物なんですよ。』と。

今年も見事な景色が魚沼の里を彩ることでしょう。

現在、社会全体が苦境に直面していますが、ここを耐え抜いた先の光景を信じ、前向きに今できることをしていきたいと思っています。

(事務 長野)

